

SOLDIER

各Stepは1週間単位で構成。

Step00	挨拶をして自己紹介を相手に認識させる
Step01	患者の生活歴（ADL）を把握できる
Step02	ABCDの異常を把握できアセスメントを立てられる
Step03	ホットラインを迅速に的確に受け、救急隊の現場活動に配慮できる
Step04	オーバートリアージを許容して検査を立案できる
Step05	ショックを疑い、その根拠を説明できる
Step06	血液培養を適切な患者に採取できる
Step07	エンドオブケア・死の告知ができる
Step08	ピットフォールを考慮したディスポジションを決定できる
Step09	PTLS（外傷初期診療）を実践できる
Step10	ICLSのリーダーができる
Step11	敗血症性ショックに一人で対応できる

ショートレクチャー

オリエンテーションで提供されるショートレクチャーによって以下の能力の基礎が身につけられます。

- | | |
|------------|------------|
| ①病歴聴取 | ⑥ABCの評価と対応 |
| ②カルテ記載 | ⑦徐脈・頻脈の対応 |
| ③プレゼンテーション | ⑧急性冠症候群の対応 |
| ④心肺蘇生法 | ⑨脳卒中の対応 |
| ⑤小児救急 | ⑩グリーフケア |

戦士－SOLDIER－プログラム

一宮西病院総合救急部の救急外来における初期研修医向けプログラムはSOLDIERプログラムと名付けられました。SOLIDIERは“段階的にレベルアップさせる指導手法”を意味しており、その名の通り、誰が行っても医師として最低限必要なレベルまで成長させることを目的としています。

そのため、このプログラムは1つのStepを1週間単位として設定しており、それをじっくりと時間をかけて、徹底的に身につけることを敢えて行っています。ついで短時間で多くの知識を詰め込むことが教育だと思いがちな中にあって、医師として重要な要素を絞った上で、そこを重点的に指導しています。

しかし、実際に必要な医師としての能力の全てがカバーされているわけではないため、初期研修医は1年目の4月から救急外来を4週間ローテーションします。そこでオリエンテーションを行いながら、ショートレクチャーを行うことで補完しています。

また勤務後には、その日に診た症例の振り返りを行うことで、指導医から助言を得られ、救急外来における考え方、社会資源の活用法など豊富な知識と経験が共有され、成長が促されることになります。

